

日本地誌畧

卷四

圖書 和圖書 遡



a 1 3 8 0 3 2 4 2 6 0 a

福岡教育大学蔵書

T 1A1

28

Sh 31

師範學校編輯

第四冊

日本地誌略

明治十年三月

文部省刊行

日本地誌略卷之四

北海道 十一圖

渡島國

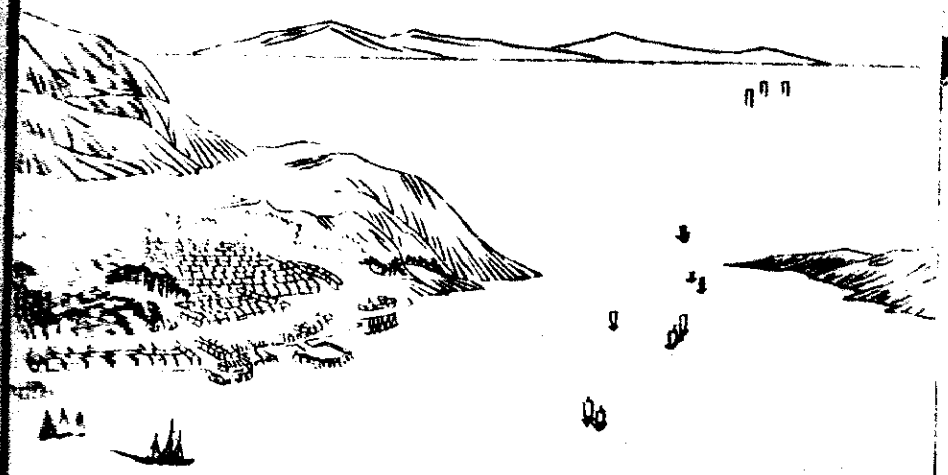
三面ハ海ニ瀕シ、北ハ、東部、膽振國、及西部、後志國ニ接ス、南ハ海ヲ隔テ、東山道陸奥國ト相對ス、其最近キ處ハ、六七里ニ過ヤズ、沿海ノ地、凡九十
三里ニシテ、津輕、福島、上磯、龜田、茅部、檜山、爾志ハ
七郡アリ、
全國海ヲ東西南ニ受クルヲ以テ、其地勢モ亦、三
面ヲ開ケタリ、南岸ハ、岬灣ノ出入、一ナラズシテ、

箱館港中央ノ灣ニ在リ、西ヲ白神岬ト云ヒ、東ヲ
惠山岬ト云フ、其間舟路相距ルコト三十餘里、惠
山岬ハ陸奥ノ藤石岬ト相對シ、白神岬ハ陸奥ノ
龍飛岬ト相對ス、龍飛岬ヨリ、白神岬ニ至ルマデ、
其間潮汐險惡ナルヲ以テ、舟人呼ビテ中潮ト云
フ、世ニ三汐ノ險ト稱スル者は是ナリ、
白神岬ヨリ、根部田岬ニ至リ、海水ハ灣ヲ成ス、是
ヲ福山港トス、根部田岬ヨリ黒走岬ニ至ルマデ、
海水亦一灣ヲ成ス、即西岸ナリ、灣中ニ江刺港
アリ、福山箱館ト皆泊舟ニ便ナリ、因リテ稱シ

港ト云フ、江刺港ノ北ヲ熊石トス、一好漁場ナリ、
黒走岬ヨリ北ハ、往時土人ノ住スル所ナルヲ以
テ、呼ビテ、西蝦夷地ト云フ、西部或ハ西北ト稱ス
ル者、即是ナリ、

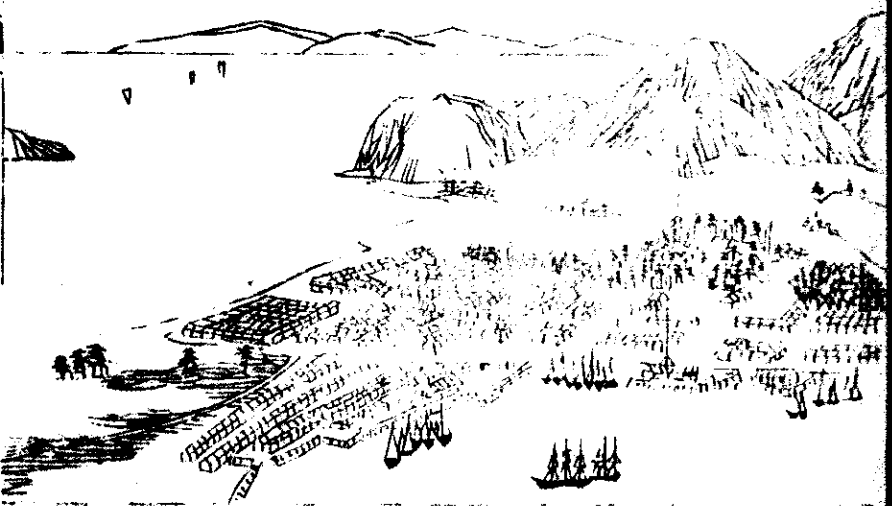
惠山岬ヨリ、東ハ、沙岸一帯、明神岬ニ連ル、明神岬
ハ、膽振國ノ江巴岬ト相對シ、海水ヲ扼スルコ
ト、囊ヲ括ルカ如シ、其間舟路僅ニ七里ニ過ギズ、
潮汐東ヨリ入リテ、一大灣ヲ成ス、是ヲ内浦ト名
ヅク、即茅部郡ニシテ、灣口ノ南岸ヲ、砂原トス、其
他、小安戸井尻岸内尾北部、樺法華、白尻、熊泊、鹿部

山 館



掛瀬、森尾、白内、鷺木、落部
等ノ地アリ、稱シテ六箇
場所ト云フ、皆好漁場ナ
リ、
國中ノ山脈ハ、北境ヨリ
起リ、直ニ南ニ延キ、一折
シテ東ニ走ル者ハ、内浦
大川諸岳トナリ、惠山岬
ニ至リテ極ル、西ニ赴ク
者ハ佐々木軒諸山トナ

港 圖



リ、知内岳ニ至リ、分レテ
兩岐トナリテ、海ニ入ル、
一ハ、即白神岬ニシテ、一
ハ、矢越岬トス、内浦岳
一名ヲ駒岳ト云フ、惠山
ト共ニ噴火山タリ、故ヲ
以テ、東岸ノ地處々ニ温
泉多クシテ、北境ノ諸山
其最大ナル者ヲ見、日黒
瀧、烏帽子諸岳トス、

諸川皆源ヲ此山脈ヨリ發シ、分流シテ、三面ノ海ニ入ル、其南海ニ入ル者ハ、箱館港ヨリ以東ニ、鹽泊湯野ニ川アリテ、港中ニ注ク者ヲ、有川トス、此ヨリ西ニハ、茂邊地、泉澤、木子内、知内等ノ數川アリ、其中知内川、家入ナリ、東岸ノ地ニハ、河汲、落部、野田老ノ三川ヲ大ナリトシテ、其他ハ、細流ノミ、西岸ノ地モ亦細流多クシテ、見日、泊乙部、大鴨手、小鴨手、五川較大ナリ、内浦岳、山南ノ麓ニ、大沼、小沼ノ兩湖アリ、大沼ノ水流シテ、東海ニ注ク、此北岸ニ、溫泉アリ、

三港中、其最盛ナルヲ、箱館トシ、海水深ク陸地ニ入リテ、箱館山、其東南ヲ擁ス、是ヲ以テ、風ノ順逆ニ管ヒズ、四時北ニ船艦ヲ容ルベシ、安政六年、外國ト互市ヲ開クニ當リ、此地及武藏ノ横濱、攝津ノ兵庫、肥前ノ長崎、越後ノ新潟ヲ以テ、其場トシ、稱シテ五港ト云フ、是ヨリ以來、街市日ニ繁盛ニシテ、各國ノ商館、其間ニ屹立シ、全道中第一ノ港タリ、江刺ハ、其盛ナルコト、箱館ニ及バズト雖、鷗島アリテ、港口ニ横タハリ、以テ風濤ヲ避クルニ足ル、故ニ亦泊舟ニ便ナ

リ、福山ハ舊松前藩ノ城下タリ、故ニ戸口蕃息
亦佳港ナリ、

物産ハ金銀銅及礪黃牛馬鮭鱒大口魚青魚鯔干
海鼠乾鮑昆布和布等ナリ

後志國

東ハ膽振ニ界ニ南ハ渡島ニ連リ、北隅ハ石狩ニ
接ニテ、西北ハ海ニ瀕スルコト、凡六十四里、久遠
奥尻、太櫓、瀬棚、島牧、壽都、歌棄、磯谷、岩内、占宇、積丹、
美國、古平、餘市、忍路、高島、小樽ノ十七郡アリ、
全國東西ハ狹ク、南北ハ長シ、後志川東北ヨリ來

リテ、地勢ノ中分シ、西南
ニ流レテ海ニ入ル、是ヲ
以テ、山脈モ亦川ノ南北
ヲ分テ、北ハ石狩ヲ限リ、
南ハ膽振ヲ遮リテ、渡島
ニ連ル

其境ノ山岳、其最高キ者

ヲ、與市岳トス、岳ノ東ニ

新都加多沙登アリテ、膽

振ニ跨リ、岳西ニ、主摩登

北後志國小樽圖



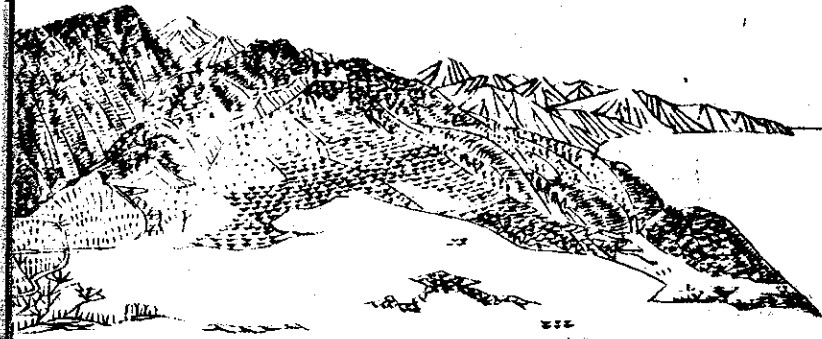
アリテ、石狩ニ連ル、其脈分レテ兩岐トナリ、岩内
川ヲ夾ミテ西南ニ走ル、其川北ニ綿互セル者ハ、
惠直、古平、美國、古宇、積丹、核内、諸岳トナリ、御神崎
ニ至リテ盡ク、其川南ニ蛇蟠タル者ハ、ト勢根尻
巖、登、贊志内、諸岳トナリ、雷電崎ニ至リテ極レリ
巖、登、岳ニハ、山中ニ一湖アリ、其水流レテ後志川
ニ入ル

南境ノ山岳ハ、其脈テ膽振ノ後方羊蹄山ヨリ發
シ、直ニ南ニ走リ、勇拉、目菜、菊場、太櫓、諸岳トナリ
テ、渡島ノ黒龍岳ニ接ス、海岸ニハ太田、奈部、天狗

諸山アリテ、海上ニ峙ツ者ヲ、奥尻島トス、周廻十
四里半、島中ニ鼠多シ、

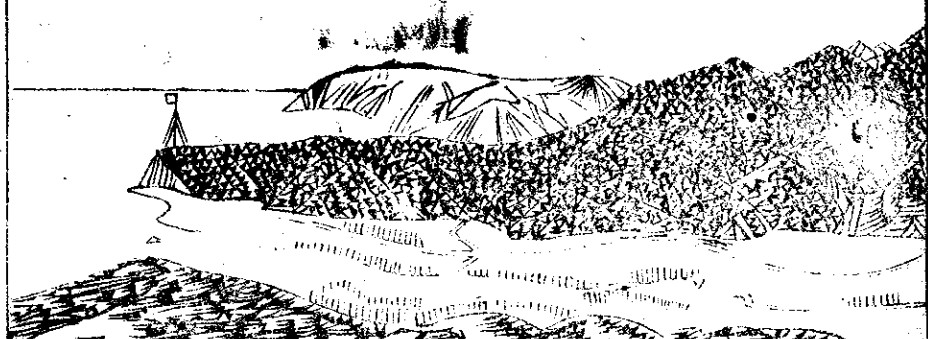
海濱ハ、岬灣出入レテ、御神崎國ノ中央ニ突出ス、
其北ハ、即積丹崎ナリ、積丹崎ヨリ北ハ、地勢皆北
海ニ面ヒ、御神崎ヨリ南ハ、地勢皆西海ニ臨ム、其
間ニ辯慶、雷電等ノ諸岬アリ、
後志川ハ、全道五大河ノ一ニ居リ、源ヲ石狩ノ札
羅岳ト膽振ノ後方羊蹄山トノ間ヨリ發シ、諸溪
澗ヲ併セ、西流スルコト、二十餘里ニシテ、磯谷浦
ニ至リ、海ニ入ル、

石 郡 内 岩



後志川ヨリ南ニハ、珠露
瀬棚年別、太櫓別、白別諸
川アリテ、其中珠露年別
太櫓別ノ三川ハ、膽振ノ
山間ヨリ發ス源遠キヲ
以テノ故ニ較大ナリ、後
志川ヨリ北ニハ、岩内尻
深古宇、美國別古平、與市
小樽内諸川アリテ、尻深
古宇、美國別、與市ノ四川

炭 山 圖



ヲ、較大ナリトス、
國中諸邑、其盛ナルハ、小
樽内、岩内二港ニルテ、岩
内港ハ、岩内川ノ口ニ當
ハ、近時其山中ニ石炭坑
ヲ開ケルヲ以テ、鐵道ヲ
通ジ、運輸ニ便ナリ、故ニ
漸富庶ヲ致ス、小樽内ハ
其盛ナルコト、岩内港ニ
及バスト雖、第一ノ好漁

場タリ、故ニ夏秋ノ間ハ、舟船常ニ輻湊ス、
物産ハ石炭ヲ最トス、砂金、金、銀、硫黄コレニ亞グ、
熊鷹、海獸、虎班、竹、厚朴、雜木、香輩、海草、昆布、鮭、鱒、青
魚、大口魚、鰻、海鼠等ナリ、

石狩國

東ハ十勝ニ接シ、南ハ、日高、膽振、後志ニ界ス、北ハ、
天鹽、北見ニ連リテ西ハ、海ニ瀕スルコト、僅ニ二
十餘里、石狩、札、網、夕、張、樺、戸、空、知、上、川、雨、龍、厚、田、濱
益、九、郡、アリ、

全道中ノ大國ニシテ、中央ハ、原野遠ク亘ルコト
四五十里、土壤肥沃ノリ、東北ニハ、石狩、岳、高ク聳
エテ、十勝ノ十勝、岳、北見ノ十勝、蟹、牛、岳、天鹽ノ天
鹽、岳ト相連ル、是全道山脈ノ發スル所ニシテ、其
十勝、岳ヨリ、東南ニ起伏スル者ハ、夕張、札、網、諸、岳
トナリ、遠ク膽振ノ後方、羊蹄山ニ亘ル、即東西部
ノ境タリ、其天鹽、岳ヨリ、西南ニ延スル者ハ、天
鹽ヲ畫リテ、黄金、阿曾、岩、登、諸、山トナリ、海岸ニ峙
テリ、

石狩川ハ、源ヲ石狩、岳ト十勝、岳トノ間ヨリ發シ、
留邊、藻、愛、別、筑、別、日、枝、雨、龍、空、知、江、別、札、網、等ノ諸

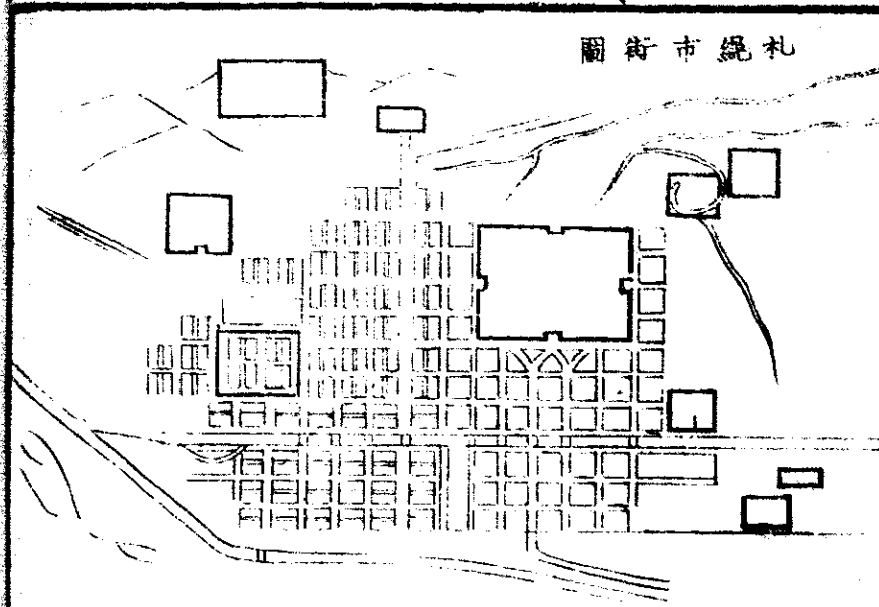
川ヲ併セ國中ヲ横絶スルコト百餘里ニシテ海ニ入ル、五大河中、其流最大ナルヲ以テ土人コレヲ西父川ト云フ

留邊蘂川ハ、千登蟹牛岳ノ麓ヨリ來リ、愛別川ハ、天鹽ノ境ヨリ發ス、十勝、石狩兩岳ノ南ヨリ出ヅルヲ筑別、日枝ノ兩川トス、雨龍川ハ、愛別川ノ西北ヨリ來リ、空知川ハ、十勝ノ境ヨリ出ツ、此二川諸流ニ比スレバ、較大ナリ、江別川ハ、其源ヲ夕張岳ヨリ發シ、夕張川ト稱ス、丹根、良運兩湖ノ水ヲ併セテ、膽振ノ千歳川ト合シ、石狩川ニ入ル、札罽

川ハ、札罽岳ヨリ出デ、津石狩ニ至ル、諸川多クハ北流シテ、其畝ニ赴ク者ハ、獨雨龍川ノミ、丹根湖ハ、長一里餘ニシテ、廣僅一六七町ナリ、良運湖ハ、周廻七里アリ、兩湖相距ルコト二里、湖中ニ蘆荻多シ、

札罽ハ、開拓使廳ノ在ル所ニシテ、石狩川ノ南岸ニ瀕シ、海ヲ距ルコト、三里ニ過ギズ、數年以來、街市ヲ建テ、人民ヲ遷シ、山道ヲ開キテ、渡島ノ箱館ニ達スルコト、凡七十里、更ニ傳信局ヲ設ケテ、箱館及後志ノ小樽、膽振ノ室蘭ニ通ズ

札幌市街圖



是ヲ以テ、其地年ノ逐
 ビテ富庶トナレリ、
 物産ハ、其盛ナル者ヲ石
 狩川、鱒、鱈トス、青魚、海
 鼠及鯊ハ、厚田、濱益ヨリ
 出ヅ、其他、海獸、海草、香藁
 雜木、鹿、熊、鷲羽等ニテ、
 濱益ニ砂金山アリ、石狩
 川ヨリハ多ク潛龍鯊ヲ
 出ダス、

天鹽國

東南ハ、石狩ニ接シ、北ハ、北見ニ界シテ、西ハ、海ニ
 瀕スルコト、凡四十五里、増毛、留萌、苫前、天鹽、中川
 上川ノ六郡アリ、
 天鹽岳ハ、東ニ峙テ、高峻ナルコト、十勝ノ十勝
 岳ト、相伯仲ス、其脈天鹽川ヲ夾ミテ、南北一岐ル、
 北ニ趨ク者ハ、北見ヲ限リ、海ニ至リテ盡ク、其間
 ニ、響手鹽、散鮭、枝姫、遠蝦、藻尻、奇屯斗ノ諸岳アリ
 テ、南ニ延ク者ハ、十勝ノ雨龍郡ヲ擁シ、十舟、牛平
 幌、田子、汁取、幌尻、南、南、襦、諸、下、別、石、穂、ノ、諸、岳、トナ

リ、海岸ハ峯巒重疊シテ、平行ノ地無ク、其中小布伊登、最險ナリ、

天鹽川モ亦、五大河ノ一ナリ、源ヲ天鹽岳ヨリ發シ、上川中川兩郡ヲ過キテ南北山間ノ溪澗ヲ併セ、西流スルコト、凡百五十里ニシテ、海ニ入ル、其大石狩川ニ亞クヲ以テ、土人呼ビテ、西母川ト云フ川上處々ニ湖沼多ク、荏葦叢生ス、

其他ノ川流ハ諸ノ別奴布紗ノ増毛郡ニ於クル、留萌緒減別ノ留萌郡ニ於クルガ如キ較大ナル者ニシテ、皆前郡ニハ、古川別羽綴、竹別、茂筑別、風

蓮別等アリ、天鹽郡ニハ、宇遠別ノリ、皆源ヲ東境ノ山間ヨリ發シ、紆餘曲折シテ、西海ニ入ル

海瀕ハ、小布伊岬ヨリ、北見ノ境ニ至ルマデ、懸崖斗絶シテ、淺沙遠ク連リ、風濤險惡ナルヲ以テ留萌港ヲ除クノ外ハ舟ヲ泊スベキノ地無シ、唯纒泊、纒別ノ二浦アリテ、僅ニ小船ヲ容ル、ニ足ルノミ、海上ニハ、焼尻、手賣ノ二島アリ、皆周廻三里ニ近シ、

物産ハ、鮭、鱒、青魚、大口魚、雜魚、海鼠、昆布等ニシテ、山中ヨリ、沙金、沙鐵、樅、厚朴、香薷、熊鷹羽ノ類ヲ出

ダス、

北見國

東ハ根室ニ接シ、西ハ天鹽ニ界ス、南ハ釧路十勝
 石狩ニ隣リテ、北ハ海ニ瀕スルコト凡百餘里、宗
 谷、枝幸、紋別、常呂、網走、斜里、利尻、禮文ノ八郡アリ、
 全國層巒重嶺、其後ヲ擁ヒ、前ヲ阿哥斯科海ト
 ス、西北ノ崎ヲ宗谷ト云ヒ、東北ノ崎ヲ知床ト云
 フ、其間一大灣ヲ成シテ、野捕、十勝布、御神等ノ諸
 岬アリト雖、率平沙遠ク連レリ、土人コレヲ北海
 岸ト稱ス、

地勢狹長、西北ヨリ東北
 ニ連リテ中間ノ天鹽石
 狩十勝ノ三國ト相接ス
 ル所ヲ較廣シトス、千登
 蟹牛岳及上部三計登岳
 高ク境上ニ峙ニテ其脈
 直ニ北ニ赴ク者ハ千瀨
 登沼來牛岩乳羊蹄登諸
 山トナリ、上部三計登岳
 ヨリ、一折ンテ東北ニ互

知床岬圖



ル者ハ神尻斜里茶々登硫黄縄内宇布伊諸岳ト
ナリ海上ニ突出スルコト十五里其端ハ即知床
崎ナリ

網走川ハ源ヲ釧路ノ阿寒岳ノ北ヨリ發シ且汲
日縄ニ萬別等ノ諸水ヲ合ヒ北流シテ網走湖ト
ナリ海ニ入ル是國中ニ在リテ其最大ナル者ニ
シテコレニアダテ常呂川ト云其源ハ上部三計
登岳ヨリ出テ郡中ノ諸水ヲ合セ北流シテ海
ニ入ル兩川ノ間ハ野捕崎ヨリ數里ノ西ヲ千勝
布崎トス此崎ヲ夾ミテ海ニ入ル者ハ西ニ諸骨

川アリ東ニ勇沸川アリ皆源ヲ千登蟹牛岳ヨリ
發ス其他烏骨内透別孟別斜里ノ諸川アリト雖
皆細流ニシテ河口ハ沙石梗塞シ舟ヲ容ルベカ
ラズ

宗谷ハ泊舟ノ地ニシテ東北ヲ紗縫崎ト云ヒ西
南ヲ納登狹牛崎ト云フ其間一灣ヲナシ中央ヲ
滿潮浦ト云フ岸上ニ朱文良運ノ兩湖アリテ其
水相通ズ漁時ニ當リテハ商船輻湊レテ頗繁盛
ナリ納登狹牛崎ヨリ西南ノ海上ニ禮文利尻ノ
二島アリ周廻共ニ十五六里利尻島ハ山高クシ

テ、禮文島ニハ茂尻湖アリ、二島各一郡タリ、紗縫
崎ヨリ、魯西亞ノ樺太島ニ至ルマデ、舟路十八里
ニシテ、潮流東ニ流ル、コト甚急ナリ、舟ノ其險
惡ナル所ヲ數ハテ、宗谷ノ七潮ト稱ス、
國中湖沼多クシテ、網走、遠淵兩湖ヲ最大ナリト
ス、遠淵湖ハ周廻十餘里、其水海潮ト僅ニ一線ノ
沙路ヲ隔ッハ、二兩湖ノ間、野捕湖アリテ兩
湖ニ比スレバ較小ナリ、其他、藻琴、遠岱、年別、猿拂
等ノ數湖アリト雖、皆甚大ナラズ、
物産ハ、鮭、鱒、青魚、大口魚、鰻、海鼠、水豹、熊、香蕈

樅材等ニシテ、海濱ニハ沙鐵多ク、宗谷斜里兩郡
ニ牧場アリ、

以上五國ヲ西部トス、渡島ノ根室田岬ヨリ
起リテ北見ノ知床崎ニ至ル、其間、沿海ノ地
凡二百三十五里アリ、

膽振國

トハ、日高ニ接シ、北ハ、石狩ニ連リ、西ハ、後志ト連
山ヲ以テ界トシ、南ハ、渡島ト一嶺ヲ隔ツ、沿海ノ
地、凡六十五里、山越、苫田、有珠、室蘭、幌別、白老、勇拂
千歳ノ八郡アリ、

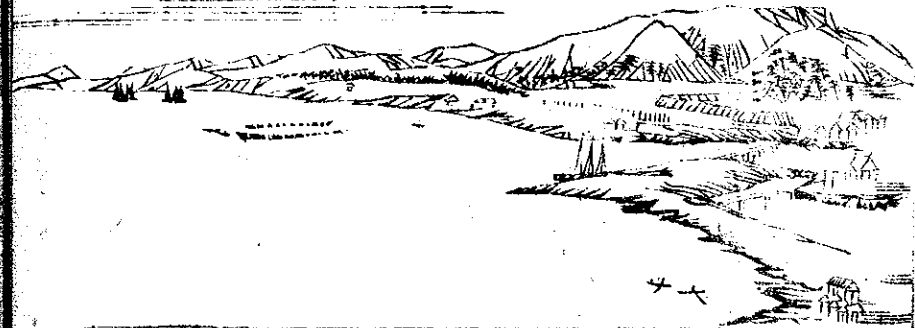
地勢彎曲シテ、海水遠ク陸地ニ入り、一大灣ヲナ
ス者、卽内浦ニシテ、江巴岬其東ニ斗出シ、渡島ノ
明神岬ト相對ス、灣内臘胸獸多シ、土人、一月ヨリ、
五月ニ至ルマデ、晴和ノ日ヲ待テ出デ、コレヲ
捕フ、其大ナル者ハ五六尺餘アリ、江巴岬ヨリ東
ハ、大洋ヲ南ニ受クルヲ以テ、氣候殊ニ暖ニシテ、
平沙遠ク連リ、土壤肥沃ナリ、

國中山岳其最高キ者ヲ、後方羊蹄山トス、形駿河
ノ富士山ニ似タルヲ以テ、是ヲ蝦夷富士ト云フ、
齊明天皇ノ時、安倍比良夫ノ政所ヲ置キタリシ

ハ、卽此地ナリト云ハ、山ニ雌雄兩岳アリ、其
雌雄岳ヨリ西南ニ延ク者ハ、昆保、解夷、勇羅浮
諸岳トナリ、後志ノ堺ヲ限リ、其脈雄岳ヨリ東
北ニ互ル者ハ、白老、一夜登、江庭登諸岳トナリテ
石狩ノ界ニ連リ、

海岸諸山其最高キ者ヲ、白嶽トス、内浦ヲ隔テ、
渡島ノ駒岳ト遙ニ相望ム、沼振別垂舞ニ岳ト共
ニ噴火山ニシテ、山上常ニ硫烟ヲ噴キ、冬時ニ至
レハ、殊ニ多シ、曰嶽ヨリ南ニハ、鯉内賤持禮文華
千布登良志諸岳アリ、曰嶽ヨリ北ニハ、射鞠鞠生

垂舞岳圖



室蘭阿曾岩諸岳アリ
 溪澗源ヲ後方羊蹄山及
 昆保岳ヨリ發スル者ハ
 後志川ニシテ賤笥峠
 西ヨリ出ヅル者ヲ珠露
 川トス年別川モ亦蟹寒
 登岳ノ麓ヨリ出ヅ此三
 川ハ皆西流シテ後志ニ
 入ル其中最大ナル者ハ
 後志川ナリ

諸川ノ東流シテ較大ナル者ハ勇羅浮於砂萬部
 小吹石小猿別等ナリ勇羅浮川ハ勇羅浮岳ト後
 志ノ太櫓岳ヨリ發ス上流ニハ温泉及鉛山アリ
 於砂萬部川ハ蟹寒登岳ヨリ來リ小吹石川ハ昆
 保岳ノ南ヨリ出デ小猿別川ハ扎幌岳ヨリ發
 シ皆内浦ニ注グ沿岸ノ地南ハ渡島ノ大箇場所
 ニ連リ原野遠ク闊ク村里相望ム北ハ禮文華峠
 ヨリ其路漸險ニシテ室蘭ニ至ル室蘭ト灣ヲ隔
 テ相對スルハ即江巴岬ナリ
 江巴岬ヨリ東ハ日高ノ境ニ至ルマデ地勢平坦

ニシテ、沙濱遠ク連リ、諸川皆源ヲ北山ヨリ發シ、南流シテ、海ニ入ル。親別川ハ、阿曾岩岳ヨリ來リ、奴振別川ハ、奴振岳ヨリ出デ、敷字川ハ、敷字岳ヨリ發ス、其他、白老川ノ白老岳ヨリ出デ、蛇體、垂舞兩川ノ垂舞岳ヨリ出ヅルガ如キハ、其源甚遠カラザルヲ以テ、合スル所ノ溪澗モ亦多カラズ、獨勇拂、阿圖馬、六皮三川ハ、諸水皆山間ヨリ來リ合シテ、其流較大ナリ。

湖沼ハ、支骨湖ヲ最大ナリトス、南北六里、東西四里、其水東ニ溢レテ數處ノ瀑布ニナリ、阿札湖ニ

入ル、阿札湖ハ、石狩ヨリ跨リ、亦一入湖外、有珠湖ハ、周廻凡十三里餘、湖中ニ四小島アリテ、湖水冬時ニ氷ヲ結フコト少シ、其他履足、宇津等ノ數湖アリト雖皆小ナリ、

國中ノ漁場ハ、有珠、室蘭、勇拂ノ三港ヲ最トス、勇拂港ハ、後ヲ垂舞岳アリテ、海濱ハ、地勢平行、戸口繁息シテ、夏秋ノ際、商船輻湊ス、室蘭港ハ、江巴岬、其東ニ斗出シテ、海水灣入シ、終歲氷ノ結バズ、呼ビテ白鳥灣ト云フ、灣口ニ大黒、辨天ノ二島並立スルヲ以テ、風濤ノ患無ク、渡島ノ

砂原港ト相對シ、箱館ヨリ、水程四十四里、石狩ノ札鮫ヨリ、陸路二十七里、官道ノ要衝ニ中ルヲ以テ東西兩部ノ運輸、皆此港ニ管ヒザル者無ク、其盛ナルコト、東部ニ冠タリ、有珠港ハ白嶽ノ下ニ在リ、海水陸地ニ入リ一小灣ヲトシ灣口ハ、危礁亂石簇立シテ風濤ヲ禦クニ足ル、故ニ亦泊舟ニ便ナリ、

物産ハ鮭、鱒、鰻、青魚、海鼠、大口魚、鰔、鮑、獸、其他、雜魚、海草多クシテ、有珠、室蘭ヨリハ、海扇、海獸ヲ出ダス、礦物ニハ金、銀、鉛、硫黃アリテ牛馬、鹿、熊、鷹、羽、刺、蝟、石、櫻、材、香、茸、紫、根、等ナリ、

日高國

東ハ十勝ニ接シ、西ハ膽振ニ界シ、北ハ石狩ト山嶺ヲ分チテ、南ハ大洋ニ面ヒ、沿海ノ地凡四十六里、沙流、新冠、靜内、三石、浦河、樣似、幌泉ノ七郡ノリ、沙流、安寧、登兩岳ハ國ノ正北ニ聳エ、山脈延キテ南ニ互リ、其十勝ノ境ヲ畫ル者ヲ、神居、獵虎、阿茶、利、豐、似、唐、淵、安、淵、諸、岳トス、安、淵、岳ノ盡クル所ヲ襟裳岬ト云フ、海中ニ斗出スルコト、三里ニレテ危巖暗礁多シ、往時ハ、此岬ヲ以テ、口蝦夷與蝦夷

ノ界ヲ分テリ、

國中山岳多シト雖、沿海ノ地ハ肥沃ニシテ、處々ニ田畝闢ケ、粟稗大豆蔬菜等多ク、又金銀坑及牧場アリ、但沙濱一帶、遠ク連シルヲ以テ、樣似ノ外舟ヲ容ルベキノ港灣無シ、樣似ヨリ北ハ襟裳岬ニ至ルマデ、皆險崖絶壁ナリニ由リ、往時ハ舟ヲ以テ、岬端ヲ廻リシガ、今ハ安淵岳ノ麓ヨリ、十勝ノ境ニ達スベキ山道ヲ開ク、其間險惡最甚シ、是ヲ沙流々越ト云フ、

猿田川ハ、源ヲ沙流安寧登兩岳ヨリ發シ、南流レ

テ海ニ入ル、川上ニ篠平山アリテ、舊源判官ヲ祭レリ、今ハ其祠ヲ沙流ニ移ス、祠下ノ小流ヲ紋別川ト云フ、千重内登岳ヨリ出デ、藻巖岳ニ沿ヒ、南流シテ海ニ入ル

厚別川ハ、沙流新冠二郡ノ境ヲ分チテ、千重内登岳ト羅岳トノ溪澗ヨリ來リ、美朴川ハ鯤尻岳ヨリ出デ、澁茶利川ハ横岳及美朴岳ヨリ發シ、三利川ハ愛多佐登岳ヲ源トセリ、其他ノ諸川ハ皆源ヲ神居獵虎等ノ溪澗ヨリ發シ、各南流シテ海ニ入ル、其中最大ナル者ヲ浦河鯤別兩川トス

新冠ニ源判官ノ城趾アリ、天晴ノ日登覽スレバ
海ヲ隔テ、渡島ノ恵山及陸奥ノ諸山ト相對シ
風景絶佳ナリ

物産ハ、金、銀、沙鐵、石、村厚朴、香蕈等ニシテ、魚ハ、鮭、
鱒、青魚、大口魚、鯉、海鼠、雜魚ノ類ヲ出ダス、又牛、馬、
鹿、熊、海獸、鶯羽、多ク昆布、殊ニ佳品ナリ、

十勝國

東ハ釧路ニ接シ、西ハ日高ニ隣シ、北ハ北見、石狩
ニ界シテ、南ハ海ニ瀕ス、ハコト凡二十里、廣尾
當縁、十勝、中川、上川、河、東、河西ノ七郡ナリ、

十勝岳ハ、石狩ノ界ニ跨リテ、石狩岳ニ連ル、其山
脈其西南ニ互ル者ハ、一折シテ、日高ノ境ヲ畫リ、
薩内、早呂、諸岳トナル、

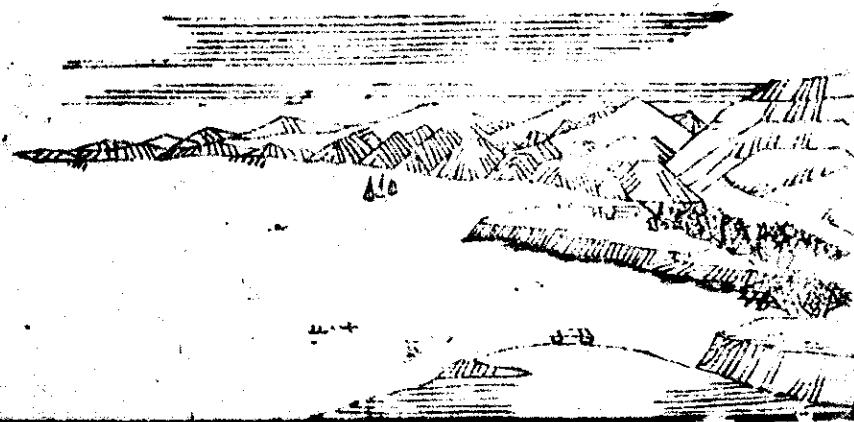
十勝川ハ、全道五大河ノ一ナリ、土人ハ稱シテ、東
父川ト云フ、其源ヲ十勝岳ヨリ發シ、南流シテ、早
呂、女、諸志、狩別、札内等ノ數十流ヲ合ヒ、中川郡
ニ至リ、釧路ヨリ來ル所ノ年別川ト相會ス、其末
ハ岐シテ兩川トナリ、支流ヲ大津ト云フ、本流ハ
浦幌川ヲ令セテ海ニ入ル、其流凡五十里、兩岸ハ
率卑濕ノ地ニシテ、處々ニ沼澤多シ

減舟川ハ十勝川ノ西ニ在リテ、日高ノ境ヨリ來
 リ、南流シテ海ニ注ク、十勝川ノ外ニ亞ギテ、其源
 遠キ者ハ北川ナリ、兩川ノ間ニ鉾子、宇屯内、勇當
 當縁諸川アリテ、皆茂部、牛登岳ノ邊ヨリ來リ、海
 口ニ至リ、渚ニテ湖ナル、勇當、當縁兩川ノ間ニ
 浦彌登岳アリ、其他ノ諸川ハ皆減舟川ト同シク、
 源ヲ日高ノ境ヨリ發ス、多クハ細流ナリ、獨豊仁
 獵虎、廣尾三川較大ナルノミ、
 國中平野多シト雖、海濱ハ平沙遠連リ、泊舟ノ地
 無シ、只廣尾港ノ東ニ獵虎岬アリ、西ニ分邊無

伊岬アリテ、其間一灣ヲ
 成シ、僅ニ小舟ヲ容ルベ
 シ、岸上ノ土壤肥沃、草木
 繁茂セリ、
 物産ハ、昆布ヲ最トハ、鮭
 鱒、鰻、青魚、海鼠、海獸等ニ
 シテ、石炭、牧馬、香蕈、樺材、
 鹿、熊、鷲羽、及鳥頭、附子、細
 辛、紫胡等ノ藥材ナリ、

釧路國

獵虎岬ヨリ廣尾ヲ望ム國圖



東ハ根室ニ接シ、西ハ十勝ニ界シ、北ハ北見ニ連
リテ、正滿ハ、大平洋ニ臨ム、瀕海ノ地、凡五十里、白
糠、足寄、釧路、阿寒、網走、川土、厚岸ノ七郡アリ、
國中平衍ノ地多クシテ、阿寒、釧路、兩川ノ邊ハ、皆
土肥エテ耕スベシ、海岸ハ、奇石怪巖、並ビ峙チテ、
厚岸ノ橋抗石特ニ奇ナリ、厚岸ハ、國ノ東ニ在リ
釧路ハ、國ノ中央ニアリテ、西ヲ白糠トス、此地、石
炭ヲ出ダシテ、後志ノ岩内ト共ニ佳品ヲ以テ稱
セラル、

國ノ西北ノ隅ニ、聳ユル者ヲ、釧路岳トス、其東南

ニ阿寒岳アリ、岳ハ東西ヲ分チテ、東ノ雄阿寒ト
云ヒ、西ヲ雌阿寒ト云フ、其間ニ大湖アリ、周圍ニ
十四里、湖中ニ知宇類、矢々丹、大小ノ四島アリテ、
知宇類ノ最大ナリトス、湖東ニ噴火坑アリ、常ニ
硫烟ヲ噴ク、溫泉其傍ヨリ涌出ス、亦湖水ノ一源
ナリ、瀑布アリテ、其北ニ懸ル、高三百尋、幅五十尋
勢極メテ大ナリ、湖水南流シテ、川トナル、皆阿寒
ヲ以テ名トシ、海岸ニ至リテ久摺川ト相會ス、雄
阿寒岳ノ東ニ、摩周、西別、兩岳アリ、其北ヲ網走郡
トス、此處ニ接ス、郡中ノ水皆北流シテ、網走川ト

ナル、

雄阿寒、摩周、兩岳ノ間ニ、亦一湖アリ、釧路ト云フ。
周廻二十餘里、其大阿寒湖ニ亞ク、湖中ニ登宇、烏
耶忽兩島アリ、烏耶忽島ハ、墳火山ニシテ登宇島
ハ周廻凡一里、崖皆峭絶、舟ヲ艤スベカラズ、湖水
南流シテ、溪澗十數條ヲ合セ、匯シテ二湖トナル、
小ナル者周廻七里餘、大ナル者十三四里コレヲ
當呂湖ト名ヅク、其水一折シテ西南ニ赴キ、阿寒
川ト相會シテ海ニ入ル、即久摺川ニシテ、其流凡
五十里、土人稱シテ東母川ト云フ、亦五大河ノ一

ナリ

摩周西別兩岳ノ間ニモ亦一湖アリ、摩周ト云フ、
周廻凡七里餘、清深ニシテ底ヲ見ズ、中ニ一危巖
アリ、神ヲ以テ名ヅク、湖水伏流シテ又發シ、西別
川トナリ、根室ニ入ル、其他ノ川流、雄阿寒岳ノ邊
ヨリ發シテ、海ニ入ル者ヲ、諸路呂恩別、釋別ノ諸
川トス、皆久摺川ノ西ニ在リテ、東ニハ、唯邊寒拍
子一川アリ、南流シテ厚岸ノ灣ニ注グ、

厚岸ハ、海水深ク陸地ニ入リテ、一大灣ヲナシ、
東ヲ愛甲布岬トシ、西ヲ仙鳳趾岬トス、本島及

大黒島其口ニ峙チ以テ風濤ヲ防グベクレテ
灣ノ奥ニモ亦能手登谷島ノ兩岬相對テ其中
自一灣ヲナシ灣口ニ牡蠣島アリ支那ノ所謂
蠔山ニシテ滿島皆牡蠣殻ナリ土人採リテ以
テ食トス岸上ノ一山ヲ盤羅ト云フ眺望絶佳
ナリ此地ハ膽振ノ室蘭ト共ニ東部要樞ノ港
タルヲ以テ近年海關ヲ設テ奧地ノ運輸ヲ監
督ス釧路モ亦久摺川ノ口ニ當レリ故ニ舟船
常ニ輻湊シテ街市殷賑ナリ
物産ハ石炭黒水晶及鮭鱒鰻青魚牡蠣海鼠海獸

昆布海草等ニシテ鹿熊鷲羽香蕈樺材厚朴ノ類
ナリ

根室國

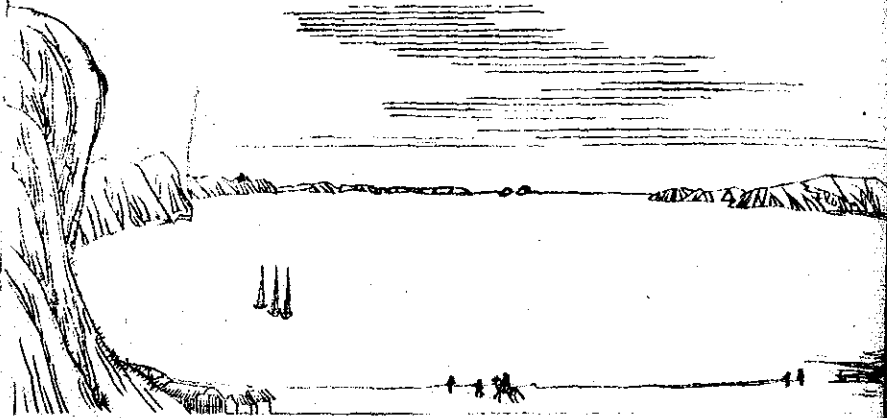
南ハ釧路ニ界シ西北ハ北見ト連山ヲ隔テ東
一面ハ海ニ瀕スルコト凡六十里花咲根室野付
標津茅梨ノ五郡アリ
國小ニシテ全道ノ東極ニ位シ南ニハ納沙布岬
海中ニ突出スルコト七里餘遙ニ北見ノ知床崎
ト相對シテ其間一大灣ヲ成ヌ灣ノ中央ニ野付
崎アリ彎曲シテ海ヲ抱キ湖水ノ如シ名ツケテ

恩禰爾久留ト云フ根室港ニ連リテ又一小灣ヲ
成ス千島ノ國後島ト海ヲ夾ミテ相距ルコト五
里ニ過キズ野付崎ヨリ南ハ釧路ノ境ニ至ルマ
テ土地率卑濕ニシテ湖沼多シ野付崎ヨリ北ハ
北見ノ界ニ至ルマデ岸皆險惡ニシテ危礁怪巖
海中ニ亂立ス但標津一郡ハ較平行ナリ
芽梨郡ハ地勢狹長ニシテ北見ニ界シ七箇山七
箇川ク目アリテ川ハ皆源ヲ其山中ヨリ發シ山
ハ皆北見ニ跨リ境上ニ屏立ス神尻斜里茶々登
硫黃纒内宇布伊諸岳等即七箇山ニシテ其脈延
キテ海中ニ突出ス是知床崎ヨリ崎ノ中央ヲ北
見ノ界トス郡中ノ水流其大ナル者ヲ宇遠別佐
伎無伊君禰別トシ此三川ニ標津郡ノ地宇類伊
知耶爾支別及野付郡ノ小絲射川ヲ合ヒテ七箇
川ト云フ皆好漁場ナリ
西別川ハ釧路ヨリ來リ東流シテ野付灣ニ入ル
其南ニ風蓮川アリ亦十勝ヨリ來リ厚牛別川ト
相會ス是ヲ風蓮湖ト云フ其水流レテ二川トナ
リ海ニ入ル風蓮湖ノ南ニ又一湖アリ恩根ト云
フ周廻凡五里其大風蓮湖ノ半ニ居リ岸上蘆葦

業ヲ成ス、冬時ニ至レバ、湖水凍リテ、氷上ヲ往來
ス、ミ、

納沙布岬ハ花咲郡ノ東極ナリ、郡ノ南ニ花咲灣
アリ、故ニ名ヅク、其東ヲ岩岬トシ、其西ヲ鉾子岬
トス、兩岬ノ間一小灣ヲ成ス、即チ勝ノ界ナリ、海
上ニハ、緩利、最緩利二島アリ、共ニ周廻二里ニ近
シ、花咲灣ヨリ納沙布岬ニ至ルマデ凡ハ八里、其間
四沼アリ、大ナル者ハ周廻凡二里餘、其水流レテ
南北ノ海ニ入ル、納沙布岬ノ海上ニ、小緒解、紋茂
尻、秋呂、勇流、水晶、悉、勃通、多羅久、志古旦等ノ諸

花咲灣圖



島アリテ、志古旦島ヲ除
クノ外、大ナル者ハ八里ニ
至リ、小ナル者ハ半里ニ
過ギズ、

志古旦島ハ、周廻三十四
里、其岸多クハ、幽崖峭壁
ニレテ、灣ハ、舟ヲ容ル、
ニ足ル者、大小二十四所
其最佳ナルヲ間舞ト云
ス、島ノ西ニアリテ、北ヲ

穴間戸トシ、東ヲ神野門トス中央ニ鮭部川アリ、
而流シテ海ニ入ル、川上ノ地、率卑濕ナリ物産ハ、
鮭、鱒、青魚、海鼠、及雜魚、海獸多クシテ、山中ニ異狐
アリ、其毛色、或ハ黄、或ハ黒、或ハ黑白斑ヲ成セリ
文政年中、此土人ヲシテ、花咲ニ移住セシメタル
ニヨリ、空島タルコト久シ、

國中、最泊舟ニ便ナル所ヲ根室、野付兩港トス、
野付灣ハ耶岬乃都伎母都邊、迺伊諸本茂志利
四島、其口ニ並峙ス、ハヲ以テ、風濤極メテ穩ナ
リ、小絲射川、及遠櫓、春別諸川皆灣内ニ注グ、根

室灣ハ、大黒島其前ニ當リ、亦風濤ヲ防クニ足
ル、周廻凡九町、灣内ハ、水深クシテ、大船ヲ泊ス
ベシ、夏秋ノ際、漁事尤盛ナルヲ以テ、商船輻湊
シ、桅檣林ノ如シ、沍寒ノ時ニ至ルニ及ビテハ、
海水氷ヲ結ビテ、舟楫通ゼズ、一時繁華ノ地遽
ニ變ジテ、寂寞ノ郷トナル、是ヲ惜ムベシトス、
物産ハ、志古且島ヲ除クノ外モ、亦鮭、鱒、青魚、大口
魚、海鼠、雜魚、海獸、昆布、鹿角菜等ニシテ、山中ヨリ
ハ、熊、狐、鷹、香蕈、樅材、雜木ヲ出ダシ、根室、野付兩港
ニハ菜蔬多シ、

千島國

根室東北ノ海上ニ斷續セル、大小島嶼二十餘ヲ
以テ、一國トス、東南ハ、太平洋ニ向ヒ、北ハ、海ニ臨
ミテ、西ハ、灣中ニ國後島ノ端ヲ容ル、國後、擇捉、振
別、紗那、藥取得、撫、新知、占守ノ八郡アリ、

國後島ハ、周廻凡百六十里、其形狹長ニシテ、擇捉
島ヲ距ルコト僅ニ七里、而ノ岬ヲ泊港ト云フ、根
室ノ野付岬ト相對ス、東ノ岬ヲ歌津ト云フ、擇捉
島ノ減田岬ト相對ス、茶々登島高ク歌津ノ南ニ
聳リテ、其溪澗ノ流レテ、西北ニ出ル者ハ恩彌別

川ナリ、恩彌別川ノ南ニ縷緯峯アリ、泊港ノ上ニ
火打山アリ、瀨開登岳其北ニ聳ニ、麓ニ唐佛湖ア
リ、周廻頗大ナリ、

擇捉島ハ、國後島ニ比スレバ、較大ニシテ周廻ニ
百八十里アリト雖、山岳重疊シテ、平地少シ、西岸
ハ、港灣出入シ、内保、振別、斜那、藥取等ノ好漁場ア
リ、皆泊舟ニ便ナリ、内保灣ハ、南ノ岬ヲ替白里ト
云ヒ、北ノ岬ヲ鯉野津ト云フ、鯉野津ノ上ニ梓登
岳アリ、南ハ、和都加釋茂井岬ト相對ス、其間又一
大灣ヲ成ス、是即振別港ナリ、和都加釋茂井岬モ

亦一大灣ヲ隔テ、散府登岳ト相望ム。灣ノ中央
ヲ斜那港トス、岸上ニ本藤湖アリ、其水流シテ海
ニ注グ、散布登岳ノ東ニ程越刺牛悅耶殖丹主摩
諸岳アリ、主摩岳ノ東ヲ藥取郡トス、郡ノ東北ニ
ハ茂與呂、跡居屋兩岳アリテ相對峙シ、茂與呂岳
特ニ高シ、二川アリ、茂與呂岳ヨリ發スルヲ茂與
呂川ト云ヒ、跡居屋岳ヨリ出ヅルヲ恩彌部主伊
川ト云フ、共ニ北流シテ海ニ注グ、跡居屋岳ノ北
麓ニ一岬アリ、高二百丈、懸泉其上ヨリ下リテ海
ニ入ル、是ヲ利鬼別瀑布ト云フ、海ヲ航スル者見
テ以テ標トス、西岸ハ内保灣ヨリ、此ニ至ルマデ
風濤穩ニシテ、泊舟ノ地ニ乏レカラズ、東岸ハ險
崖一帯、風濤極メテ惡シク、漁ニ便ナラザルヲ以
テ、地ニ居民無シ、唯年茂井灣ノニ較舟ヲ容ル、
ニ足リ、灣上ニ年茂井及偏祁半祁ノ三湖アリテ、
年茂井湖最大ナリ、全島ノ山岳、悉火脈ニ當リ、地
ニ溫泉多クシテ、國後及得撫兩島ノ間ハ、冬時ニ
至ル毎ニ皆氷海トナリ、舟楫ヲ通ズルコト能ハ
ズ、得撫島ヨリ茂與呂崎ニ至ルマデ、水程凡十五
里アリ、

得撫島ハ、一名ヲ獵虎島ト云フ、獵虎ハ、海獺ニ
テ、得撫ハ即紅罽ナリ、島ニ紅罽及海獺多キヲ以
テ名ヅク、擇捉島ヨリ此島ニ航スベキ西岸、岬
ヲ茂尻屋ト云フ、其北ニ瀨履瀑布アリ、温泉巖上
ヨリ直下シテ、海ニ入ル、島中山岳多ク、其最高キ
者ヲ香平山ト云フ、其山脈東北ニ延キテ、瓶和、阿
達二岳トナル、阿達岳ノ麓ニ東西二湖アリテ、西
ニ鬱彌布湖ト云ヒ、東ヲ阿達湖ト云フ、其水各流
レテ、海ニ入ル、川ハ瓶和知布登良志別二川較大
ナリト雖、其他ハ細流ノミ、全島周廻凡七八十里
此島ヨリ以北ハ、大小二十餘島、斷續シテ魯西亞
ノ島察加ニ至ル、往時、魯西亞ノ管轄ニレテ古
利兒連島ト稱セシガ、明治八年易フルニ樺太島
ヲ以テシ、今皆我邦ニ屬ス、其得撫島ニ近キ者、
賦辨登智惠兒、智惠兒保伊二島トシ、コレニ次グ
ヲ、布魯頓島トフ、其北ハ、新知島ニレテ、即郡ノ在
ル所ナリ、新知島ヨリ祁登伊半知、須禮村、仁波等
ノ十餘島ヲ歷テ、占守島ニ至ル、諸島其大ナルコ
ト、得撫島ニ及バズト雖、亦六七十里ニ近キ者ア
リテ、海獺多ク、異狐及鷲ヲ産シ、鴻雁ハ四時共ニ

去ラズ

物産ハ鮭鱒及紅樽鯨青魚大口魚海鼠海膽海獺
等ニシテ熊鹿鷹玄狐等多シ又擇捉島ノ昆布得
撫島ノ海苔最奇品ナリ

琉球國三部

琉球ハ古時ビテ宇留間島ト云フ西海道薩摩國
ノ南百四十里ノ海中ヨリ起リ大小島嶼四十餘
ヲ合セテ國ヲ成シ臺灣島ノ東二十六七里ニ至
リテ止マル東南ヲ太平洋トシ西北ヲ支那海ト
ス全國地勢自分レテ三トナル北部ハ總ベテ大
島ト稱シ南部ハ櫛ニテ先島ト云フ其中間ニ位
スルヲ沖繩島ト云フ即中部ナリ省アリテ間切
ヲ管シ間切アリテ村ヲ管ス間切ハ中土ノ郷ノ
如ク省ハ中土ノ郡ノ如ク省三中山ト云ヒ山南

ト云ヒ、山北ト云フ、是沖繩島ニ在ル者ニシテ、三部ヲ併セテ、七十八間切、七百二十一村アリ、北部諸島

今鹿兒島縣ニ屬スト雖、其初ハ、亦琉球ノ地タリ琉球ノ上古ニ、男女二神有リテ、大島ノ北嶽ニ降り、男ヲ志仁禮久ト云ヒ、女ヲ阿摩美姑ト云フ、三男二女ヲ生ズ、長男ノ孫、世々國王タリ、天孫氏ト稱フ、後中土ノ人、源爲朝ノ子尊敷、天孫氏ニ代リテ立ツ、是ヲ尚天王ト云フ、慶長年中、其數世ノ孫尚寧王國ヲ舉

ゲテ、島津氏ニ降ル、島津氏乃中部南部ヲ還シテ、獨北部ヲ收ム、是其今ニ至ルマデ鹿兒島縣ニ屬スル所ナリ、風土、物産、率中部南部ニ同シ、因リテコレヲ此ニ載ス、

北部諸島、南ハ薩摩國ノ寶島ヲ距ルコト、三十五里ニシテ、中部諸島ノ北ニ位シ、少シク東ニ偏ス、大島、德島、沖永良部島、加計留麻島、受島、與論島、喜界島等、凡十許島アリテ、大島最大ナリ、因リテ、諸島ヲ併セテ、コレヲ大島ト稱ス、大島ハ、其大沖繩島ニ亞グラ以テ或ハ呼ビテ、小

琉球ト云フ、全島長二十一里許、其幅狹キ所
 三里ニシテ、廣キ所ハ八九里ニ至ル、古ハ阿摩美
 島ト稱ス、史ノ奄美國卽是ナリ、島ノ東北ニ阿摩
 美嶽アリ、傳ヘテ云フ、男女二神ノ降リニ所ナリ
 ト、女神其名ヲ阿摩美姑ト云フ、嶽モ亦因リテ以
 テ稱トシ、遂ニ島ニ及ベルナリ、阿摩美嶽ハ今湯
 灣岳ト稱ス、高二百五十丈アリ、島中山脈ノ起ル
 所ニシテ、永明、清水、菊花等ノ諸山、南ニ聳エ、其高
 百二十丈、至ル者アリ、其他、疊嶂攢峰、竝立シ
 テ、瀨海ノ地ハ、北ス、漸平衍ナリ、奈瀬古

見、住用、燒内、西、東、瀬名、龍郷、大和濱、須垂、赤木、名渡
 連、實久ノ十三間切アリテ、奈瀬ヲ首府トス、島中
 ノ佳港タルヲ以テナリ、港ハ北岸ニ在リテ、笠利
 崎其東北ニ斗出シ、海水遠ク陸地ニ入リテ一大
 灣ヲ成ス、中ニ深井、龍郷ノ兩港アリ、其間大船數
 十艘ヲ泊スルニ足レリ、南岸ハ、加計、留麻島ト、一
 帶ノ海峡ヲ夾ミテ、其中皆舟ヲ泊スル、東西兩
 岸、佳港ハ、奈瀬ノ西ニ大和濱アリ、大和濱ヨリ、
 水程七里ニシテ、燒内ニ至ル、港口ハ、伊太良島
 アリ、風濤ヲ禦グベク、一水西ヨリ來リテ、灣内

琉球田間圖



ニ注グ、其廣一里ニ近ク
 シテ長三里餘、以テ大船
 百餘艘ヲ泊スベシ、其南
 ヲ西古見港ト云フ、亦巨
 艦七八艘ヲ容ルニ足
 リ、東岸ニハ、住用港アリ
 住用川此ニ注グ、亦一住
 港タリ、川上ニ銅鑛アリ、
 氣候ハ冬暖ニシテ夏涼
 シク、土壤肥沃、百物繁生

シ、人口稠密ナリ、

加計留麻島ハ大島ノ南ニ在リ、周廻凡十五里餘、
 而南ニハ受島與呂島アリテ、其周廻或ハ三里半、
 或ハ四里餘、東西ノ二間切ニ屬ス、加計留麻島ヨ
 リ、受島ニ至ルマデ、其最近キ所ハ、僅ニ五町ニ過
 キズ、受島ヨリ與呂島ニ至ルマデ、二十町ノミ、
 喜界島ハ大島ノ笠利間切ヨリ、東ニ距ルコト、七
 里ニシテ、周廻七里ニ殆レ伊沙志戸桶、東西目、灣
 荒本ノ六間切アリ、灣泊ハ大島ニ航スベキ港ナ
 リト雖、僅ニ小舟ヲ容ル、ニ足ルノミ、島中ニハ、

噴火山アリテ、島八十七丈、其他ハ平地多ク、
樹木少ク、土人馬糞ヲ焚キテ薪炭ニ易フト云フ。
喜界、古ハ鬼界ニ作リ、西海道、大隅國ノ種子屋久
及薩摩國ノ寶甌、黒惡石、硫黄等ノ諸島ヲ合セテ、
或ハ五島ト稱シ、或ハ七島ト稱ス。
德島ハ與呂島ノ南ニ在リテ、其間僅ニ一海峽ヲ
隔ツルノミ、周廻十七里餘、山嶽重疊シテ、西北ニ
亙リ、其高二百丈ニ至ル者アリ、海岸ニハ和爾耶
井之川、秋徳三港アリ、雖秋徳港ヲ除クノ外ハ
或ハ水淺ク、或ハ灣小ニレテ舟船ヲ容ルハニ足

ラズ、治所ハ龜津村ニ在リテ、島中ニ龜津伊仙喜
念井之川、岡前、蘇久ノ六間切アリテ、川流數條、源
ヲ山岳ノ間ヨリ發シ、各流レテ海ニ入ル、其大ナ
ル者ヲ足霧神川、阿含川、鹿川トス、然レドモ、コレ
ヲ中土ノ諸川ニ比スレバ、皆細流ナリ、氣候、物産
率大島ニ類ス。

永良部島ハ德島ノ南ニ在リ、凡琉球及其近傍ニ
三ノ永良部島アリテ、大隅國ニ屬スルタロ、永良
部島ト云ヒ、宮古島ニ屬スルヲ、奥永良部島ト云
フ、故ニ此島ハ呼ビテ沖永良部島ト云フ、周廻凡

十四里餘水比留大城德時ノ三間切アリ中央ニ
ハ大城岳高ク峙チテ北麓ニ一池アリ天田川源
ヲ山間ヨリ發シテ東海ニ注ギ和泊港ハ其北ニ
アリ德島ノ秋徳港ヲ距ルコト十八里水淺クレ
テ泊舟ニ便ナラズ

與論島ハ永良部島ノ和泊港ヨリ東南ニ距ルコ
ト十餘里ノ海上ニ在リ周廻五里餘岸皆沙礁遠
ク連リテ東北ノ岬ヲ赤岬ト云フ沙背海中ニ斗
出ハルコト十七八町ニシテ島ノ西南ニハ赤佐
港アリ亦水淺クレテ泊舟ニ便ナラズ此ヨリ沖

繩島ノ運天港ニ至ルマデ海路二十里アリ

物産ハ五穀蔬菜燒酒甘蔗砂糖蕃薯棧實豌豆
花生木綿細布細上布麻布芭蕉布草席山藍櫻櫚
蘇鐵佛桑明海棠野牡丹萬年青仙人掌橘桑鳳梨
島木赤木黃木螺石牛馬猪鹿猿兔等ニシテ鐵屬
一ハ銅ヲ出ダレ鱗族ニハ鮫鯉鰻鰺鰯毛魚針
魚銀鱧魚等アリ又蝦蟇玳瑁真珠玳瑁海膽等ヲ
産ス其外諸島ハ喜界島ヲ佳ナリトス島中ヨリ硫
黃滑石甯芥石灰石コ産ス碗豆落花生ハ德島
推ス諸島共ニ砂糖ノ利ヲ最トス德島ハ稱スル

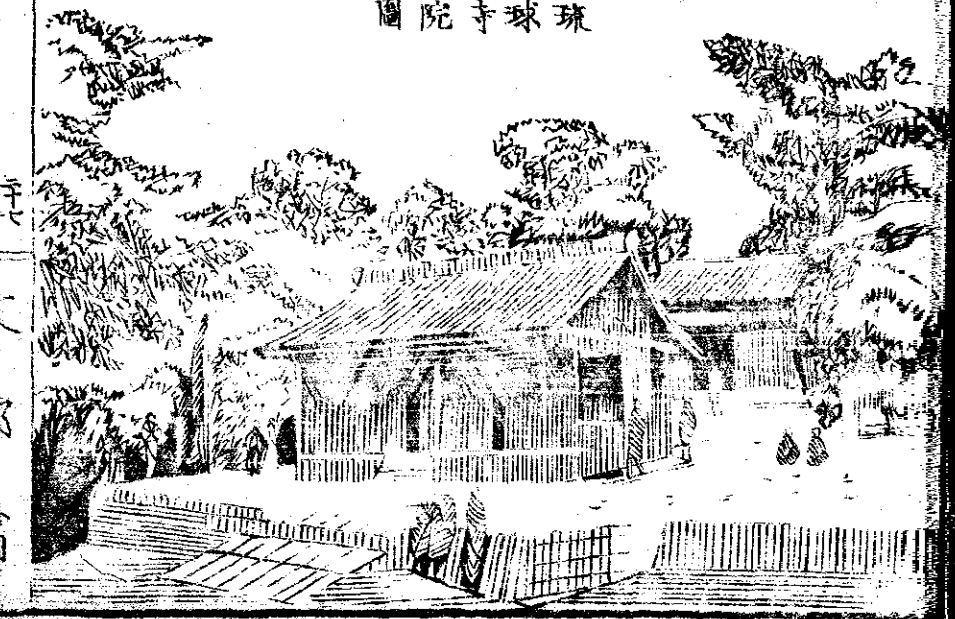
者アリ大島ト號スル者アリテ大島ニハ毒蛇多
シ呼ヒテ波布ト云フ支那人ノ所謂飯匙倩是ナ
リ人咬マルレバ立トコロニ死ス又永良部島ニ
海蛇アリ永良部鰻ト云フ脂製ニテ藥トスベシ

中部諸島

中部諸島ハ大小二十餘アリコレヲ分チテ三部
トス西ヲ計良間諸島ト云ヒ北ヲ伊平屋諸島ト
云フ中央ハ即沖繩諸島ニシテ沖繩島ヲ最大ト
リトス因リ人地球ト稱ス即首府ノ在所ナ
リ周廻凡ヒ一四里東北ヨリ長ク延キテ西南ニ

至リ其形虬龍ノ水上ニ
蜿蜒タルガ如シ長五十
六里ニシテ其濶十里ヨ
リ十二里ニ至ル極北ノ
岬ヲ平登岬ト云ヒ極南
ノ岬ヲ喜屋武崎ト云フ
西ニハ先春前田赤丸等
ノ沙嘴アリ東ニハ的奈
勝連等ノ沙嘴アリ勝連
ノ沙嘴海中ニ斗出スル

琉球寺院圖



コト二里餘、是沿海ノ地勢ニシテ、全島モ亦分チ
テ三省トス、中山、山南、山北是ナリ、山北或ハ國頭
省ト稱ス、島ノ北部ニ在リ、山南、或ハ島尻省ト稱
ス、島ノ南部ニ在リ、其中間ハ、即中山ニシテ、較南
ニ偏ス、或ハ中頭省ト稱ス、中頭省ニハ、西原、浦添
宜野灣中城、北谷、讀谷山、勝連、與那城、越來、美里、具
志川ノ十一間切アリ、其他ノ首里、那霸、久米、泊
四邑ハ、世官子孫ノ住スル所ナハナリ、以テ、稱スル
ニ、間切ヲ以テス、島尻省ニハ、真和志、大里、上城、
豐城、小祿、兼城、南風原、高嶺、東風平、佐敷、知念、具

志頭、府文仁、眞壁、喜屋武ノ十五間切アリ、國頭省
ニハ、金武、恩納、名護、久志、羽地、今歸仁、本部、大宜味、
國頭ノ九間切アリ、三省凡三十五間切、其最大ナ
ル者ハ、國頭省ナリ、但峯巒起伏レテ、平行ノ地少
シ、中頭省ヨリ南ハ、コレニ反レ、田野闊ケテ、戸口
多シ

島中諸山、甚高カラズト雖、其脈延キテ三省ニ互
リ、八重頭ハ、島尻省ニ峙チ、辨岳ハ、中頭省ニ聳ユ、
恩納、名護、佳楚、三岳ハ、國頭省ニ簇立ス、是ヲ五岳
ト稱ス、五岳中、佳楚岳百四十餘丈アリ、最高レト

一名ヲ宇勝岳ト云フ、岳ノ南ヲ讀谷山トス、北ハ即名護岳ナリ、蘭ヲ産ス、恩納岳ハ或ハ佐渡山ト稱ス、名護岳ノ南ニ在リテ辨岳ハ、首里ノ西ニ峙テリ、山上ニ天孫氏ノ女祝ヤヲ祀ル、其東北ニ姑場岳アリ、八重頭ニ連レルハ、周吉山、佐高嶺ノ諸山ニシテ、高嶺ハ、昔時、山南王ノ居城ヒレ所ナリ。

川流ハ、源ヲ連山ノ間ヨリ發シ、各流レテ海ニ入ル、ト雖、其長率數里ニ過ギズ、テ、唯富藏、大榮、饒波三川ノ比較大ナリ、饒波川ハ、豐見城間切ノ石

火山ヨリ來リテ、長川ト共ニ那霸江ニ注グ、長川ハ、源ヲ浦添間切ノ浦添山ヨリ發ス、大榮川ハ、佳楚岳ノ麓ヨリ出デ、西南ニ赴キ、海ニ入ル、其東ハ、即運天港ナリ、富藏川ハ、金武間切ノ金峰山ヲリ發シ、東ニ流レテ、海ニ注グ、此數川中、那霸江特ニ大ニシテ、潮水相會スル所ヲ那霸港トス、那霸港ハ、琉球第一ノ埠頭ニシテ、内外二港アリ、市街凡方半里、二港ノ間ニ位レテ、内ニ面ヒ、外ニ負ク、外港ハ、陸地分レテ兩岬トナリ、東南ニ斗出ス、其間一灣ヲ成レテ、西洋船數艘ヲ泊スベシ、灣

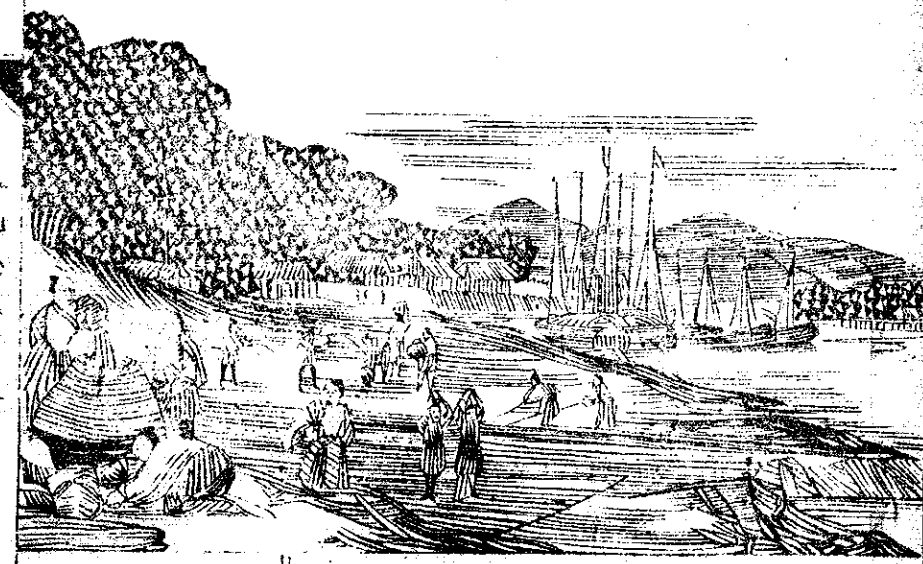
ハ西北直ニ大洋ニ連リ、灣ノ口ニハ、砂礁斷續、自堤ヲ成シテ、風濤ヲ防クニ足ルト雖、出入甚難シ、沿岸ノ地ニハ辻山、雪崎、波上諸山アリテ風景絶佳ナリ、是ヲ那霸市街ノ西北トス、市街ニ神祠、佛龕、及清使ノ旅館アリテ、海潮西南ヨリ入リ、江水ト共ニ一大湖ヲ成ス、其周廻一里餘、中ニ大小二島アリ小ヲ鶴頭山ト云ヒ、大ヲ奥山ト云フ、奥山ニ寺アリ、海山ノ勝ヲ登覽スヘシ、港口ニハ、南北ノ兩炮臺アリ、築キニ礮石ヲ以テシ、江ヲ挾ミテ、兩岸ニ對峙ス、江中ニ一巨石アリ、四圍皆鐵板沙

ニシテ、潮來レバ没ク、舟若シ誤リテコレニ觸ルルトキハ必碎ク、唯炮臺ノ下、中土ノ船三十艘ヲ容ル、ニ足レリ、内港ハ深二三尋ニ過ギズシテ、外港ハ、十七八尋ニ至ル、潮水共ニ透明ナリ、那霸港ニ次ギテ、泊舟ニ便ナルハ、運天港ナリ、港口ニ古宇利、屋嘉ノ二島アリ、屋嘉島ハ、周廻二里ニシテ、古宇利島ハ較小ナリ、其間ノ灣ハ、中土ノ船五六十艘ヲ泊スベシ

首里ハ、主城ノ在ル所ニシ、那霸港ノ砲臺ヨリ、東ニ距ルコト僅ニ三里、山ニ據リテ城

ヲ爲ス、實袤一里ニ充クズ、都門凡皆掲グル
ニ匾字ヲ以テス、中山國門ト云ヒ、歡會府門
ト云ヒ、漏刻殿門ト云ヒ、奉神門ト云フ、四周
築クニ石壁ヲ以テス、正殿ハ山ノ巔ニ在リ
テ殿閣二層、南北八楹、皆支那ノ製ニ倣フ、其
他ノ第宅ハ、漸下リテ山腹ニ鱗次シ、柱礎多
クシテ、屋梁低ク、繚ラスニ高垣密樹ヲ以テ
シ、王及世子ヲ除クノ外ハ、二層ノ樓閣ヲ築
ク者無シ、地ニ颶風多キヲ以テノ故ナリ、街
衢ハ道路四達シテ、城南ニハ一帯ノ石山ア

那覇鹽濱圖



リ、コレヲ崎山ト稱
ス、城北ニハ升菴石
虎諸山アリテ、地勢
漸高ク、延キテ國頭
省ニ連レリ、
泊港ハ、首里ノ西南海濱
ニ在リ、一水ヲ隔テ、久
米ト相對ス、其間ニ曬鹽
場アリ、久米ハ應永年中、
支那ノ人三十六姓ヲ移

シ、ヲ以テ、稱シテ唐營ト云フ、那霸ニ屬ス、孔廟
學校アリテ、其俗尚支那ノ如ク、書ヲ讀ムニモ、亦
音ヲ以テシテ、訓ノ明非ズ、

今歸仁間切ニ仁與波入江、港アリ、兩岸淺沙遠ク
連リテ、泊舟ニ便ナラズ、一海峡ヲ隔テ、水無瀬
底ニ島アリ、瀬底島ハ、周廻一里餘ニシテ、水無島
ハ特ニ小ナリ、二島共ニ今歸仁間切ニ屬シテ、勝
連間切ニハ、屬島五アリ、津堅、巴麻、平安座、宮城、伊
計是ナリ、其中、津堅島最大ニシテ、北ニ久高島アリ、
知念間切ニ屬ス、皆周廻三里許、是即沖繩諸島

ナリ

計羅摩島ハ、那霸港ノ西ニ在リ、支那人ハ、呼ビテ
東馬齒山ト云フ、周廻凡三里、屬島十餘ニシテ、東
ニ在ルヲ、前計羅摩島トス、西ニ在ルヲ、座間味島
トス、皆周廻二十許、支那人ハコレヲ西馬齒山ト
云フ、東西ニ二島アリ、渡嘉敷、座間味ノ二間切ニ
分ツ、赤島ハ、西島ノ西南ニ在リ、周廻凡一里半、其
他、諸島ハ、小ニシテ、居民無シ、
姑米島ハ、又久米島ニ作ル、即古ノ球美島ナリ、周
廻凡七里ニ殆ク、中城、金城ノ二間切アリ、金城山

、高百二十丈アリ、故ヲ以テ、支那ノ船、琉球ニ赴
ク者、必準ヲ此山ニ取ル國人、舟船往來ノ爲ニ烽
臺ヲ置キ、烟ヲ擧ゲテ、以テ釐路ニ便ニス、島ノ西
ノ岬ヲ、半彌濱ト云フ、東ハ一條ノ沙線、岐レテ兩
岬トナリ、海水其中ニ入リテ、一灣ヲ成ス、灣ノ口
ニ沙礁アリ、其端ヲ小神崎ト云フ、北ニ町屋ハ江
アリ、水淺ク、コレヲ用ニ客ルベカラズ、南ニ金城港
アリ、中土ノ大船四五艘ヲ泊スベシ、那覇港ヨリ
ルコト四十八里アリ、

戸無島ハ大曾那島ト共ヒ、姑米島ノ北ニ在リ、二

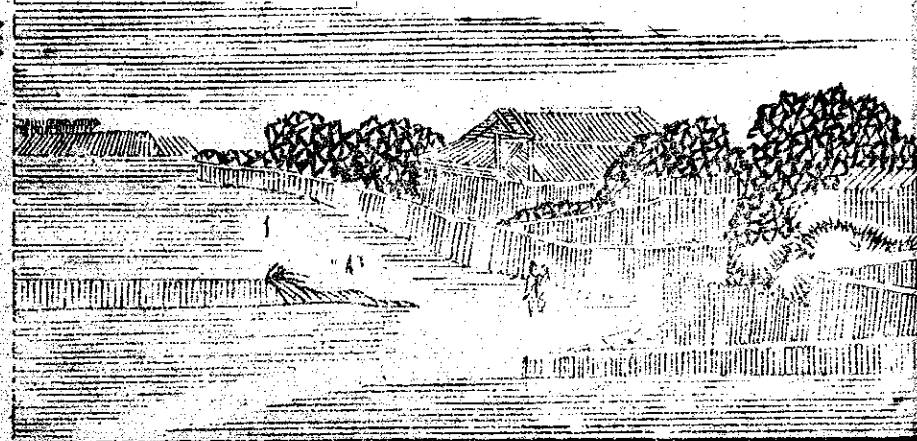
島相距ルコト一里ニシテ、大曾那島ニハ人家無
シ、戸無島ハ周廻一里餘、其西北ニ、栗島アリ、或ハ
栗國島ト稱ス、周廻二里餘、戸無島ト相距ルコト
八里ナリ、

伊惠島ハ國頭省ノ西、三里ノ海上ニ在リ、周廻凡
四里七町ニシテ、平沙遠ク岸ヲ繞リ、石山其中ニ
峙ツ、高五十六丈アリ、山下ノ村ヲ、伊江城ト云ス、
稻田多ク、又黍稷、豆麥ヲ産ス、北ニ伊是那島アリ、
高四十力、周廻二里半、南北ニ、二島アリテ、コレニ
屬ス、南ヲ柳葉ト云ヒ、北ヲ具志川ト云フ、皆小ニ

シテ、人家無シ、其志川島ノ東北ニ、乃保島アリテ、
 惠平屋島ニ屬ス、惠平屋島ハ、支那人コレヲ葉壁
 山ト稱ス、高一百丈、周廻五里ニ殆シ、葉壁山ヨリ、
 五十四里ノ北ニ、鳥島アリ島ニ異鳥多キヲ以テ
 名ツク、周廻一里ニ足ラズ、或ハ黒島ト稱ス、支那
 人ハ呼ビテ硫黄山ト云フ、泊ニ屬ス、高五十四丈
 アリ、噴火山ニシテ、草木生セズ、地ニ温泉アリ、硫
 黄ヲ採ルノ家、四十餘戸アリ、沖繩島ヨリ、米ヲ饋
 リテコレヲ養フ、島ノ傍ニ灰堆山、尤家埠、移山奥
 ノ三小嶼アリ、

物産ハ、鳥島ノ硫黄、惠平
 屋島ノ礪石、久高島ノ海
 帶菜、佳蘇魚、計羅摩島ノ
 海松、海柏、沖繩島ノ鐵石、
 炭、硫黄、硯材、磨石、石灰石、
 貝、志頭、間切ノ蓄蘿ナリ、
 蓄蘿ハ、松露ニシテ、草木
 ニハ、薊草、防風、山丹、名護
 蘭、火鳳、海苔、石花菜、鵝胡
 菜、鹿角菜、及檜、柏、樟、榕、楓

琉球人家人圖



榴、橙、橘、枇杷、油樹、月橘等ナリ、竹其類最多シ、苦竹、
烏竹、方竹、箒竹、撥竹、虎斑竹、觀一竹ナリ、其物
産率北部ニ同ジクシテ、又紅氈、沱碱、鹽豚、朱漆器
等ヲ出ダス、

南部諸島

南部諸島ハ、中部ノ西南九十里ノ海上ニ在リテ、
臺灣島ヲ距ルコト、二十五六里ニ過ギズ、大小島
嶼凡二十併セテ、コレヲ先島ト稱ス、其中最大ナ
ルハ宮古、石垣、入表ノ三島ナリ、入表島ハ、西ニ位
シ、宮古島ハ東ニ位シテ、石垣島ハ、其中間ニ在リ

宮古島ハ、支那人コレヲ太平山ト稱ス、或ハ麻姑
山一作迷山ト云フ、西洋人ハ呼ビテ摩志古島ト
ス、蓋麻姑山ヲ訛レルナリ、全島周廻十一里餘、土
壤肥沃ニレテ物産蕃殖ス、於呂加、雁股、下地、平良
ノ四間切アリ、筑山高ク島中ニ聳エテ上ニ碧於
亭アリ、地勢稍三稜狀ヲ成シテ、西北ノ端、長ク海
中ニ斗出シ、分レテ兩岐トナリ、右ヲ迫門岬ト云
ヒ、左ヲ費鹽那岬ト云フ、沿海四周沙線ニシテ其
舟ヲ容ルベキ所ハ、唯針水港ノ一、港ハ永良部島
ト、一海峡ヲ隔テ、相距ルコト一里餘ニ過ギズ、

永良部島ハ、卽興永良部島ナリ、西ニ來間島アリ
テ、南ニ下地島アリ、下地島ヨリ、更ニ東南ノ海中
ニ在ル者ヲ、太良末水納ノ二島トス、水納島ノ東
北ニ、沙礁アリ、東西一里半ニシテ、南北五里餘、コ
レヲ八重干瀬ト稱ス、八重干瀬ト、迫門岬ノ間ニ、
伊計摩島アリテ、伊計摩島ノ西南ニ大高見島ア
リ、諸島周廻、率一二里ニ止マリテ、太良末島、及興
永良部島ハ、四里餘アリ、是皆宮古島ニ屬スル者
ナリ、

石垣島ハ、宮古島ノ西ニ在リ、一名ヲ北木山ト云

ト、又八重山ト稱ス、蓋史ノ所謂信覺島ナリ、周廻
凡十六里半、宮良、石垣、河平、大濱ノ四間切アリ、於
茂登嶽島ノ西南ニ聳エテ、高百六十丈アリ、其山
脈延ヤテ北ニ互リ、平窪崎ニ至リテ極レリ、平窪
崎ノ南、五里餘ニシテ、海水東北ヨリ、陸地ニ入リ、
一灣ヲ成スヲ河平港トス、中土ノ大船二三十艘
ヲ泊スベシ、是島ノ西岸ニ在ル者ニシテ、南ニハ、
御崎尾神アリ、水淺クシテ、大船ヲ容ルベカラズ、
沿海ノ地、率岬灣出入スルコト、一ナラズ、太平山
ニ比スレバ、氣候更ニ暖ニシテ、土壤モ亦肥エタ

リ、屬島ハ、皆其西南ニ在リ、武富島ハ、周廻二里ニ
近ク、黒島ハ、高百二十丈ニシテ西ニ上離下離ノ
二小島アリ、波照間島ハ、黒島ト共ニ、周廻三里餘
其間相距ルコト、其五六里、是等ノ諸島ヲ併セテ、
八重山ト稱ス、

ハ表島ハ、八重山ノ西ニ在リ、一名ヲ姑彌島ト云
フ、入トハ深奥ノ所ヲ稱スル方言ニシテ、表ハ即
於茂登ナリ、此島於茂登嶽ノ奥ニ在ルヲ以テ名
ツク、或ハ稱シテ西表島ト云フ、周廻凡十五里、入
表、古見ノ二間切アリ、東岸ニハ、古見港アリテ、上

離下離ノ二島ト相對レ、黒島ヲ距ルコト、僅ニ二
里餘、北岸ニハ比計川村港アリテ、其北ニ鳩間島
アリ、周廻二十四餘、古見間切ニ屬ス、南岸ニハ、鹿
川港アリテ、西岸ノ越良港ト相表裏ス、越良港ハ、
曾野、南ノ兩岬、南北ニ對峙シ海水其中ニ入りテ、
一大灣ヲ成シ、灣口ニ、内離、外離ノ二小島アリ、越
良港ノ北ニ浦内港アリ、諸港皆水淺クシテ、泊舟
ニ便ナラズ、全島氣候、物産、率石垣島ニ類シテ、屬
島ハ東ニ小濱島アリ、周廻凡三里、加山島アリテ
コレニ附ス、西南ニ、新城島アリテ、別ニ與那國島

アリ、周廻五里餘、高七十丈、曾奈比村港ヲ距ルコ
ト凡四十八里餘、臺灣島ヨリハ、二十五六里ニ過
ギズ、海岸四周、皆砂礁遠ク連リ、西ニ鳥竹村アリ、
南ニ鬚川村アリテ、北ヲ宗納村トス、村ニ南太津
口、港アリ、潮満ツル時ハ、小舟ヲ容ルベシ、其東南
ノ洋中ニ沖神島アリ、一座ノ巨巖、波上一特起ス
ルノミ、

物産ハ、五穀ヲ最トシテ、宮古、石垣兩島多ク米ヲ
出ダス、細上布、綿布、麻布、芭蕉布、草席、紅酒、特ニ著
シ、紅酒ハ、宮古島ヨリ産スルヲ、太平酒ト云ヒ、石

垣島ヨリ産スルヲ、密林酒ト云フ、年々米ト共
コレヲ沖繩島ニ輸ス、牛、馬、珊瑚、瑤瑁、海參、海石類
ニシテ、西表蘭風蘭モ亦名アリ、

日本地誌略卷之四終
大尾